

地域医療支援病院業務報告書

令和7年 9月 18日

愛知県知事殿

開設者 住 所 愛知県長久手市平池901番地
〔法人の場合は、主たる
事務所の所在地〕

氏 名 愛知県厚生農業協同組合連合会
〔法人の場合は、名称及
び代表者の職・氏名〕 代表理事理事長 宇野 修二

下記のとおり、 令和6年度の業務に関して報告します。

記

1 病院の名称等

名 称	愛知県厚生農業協同組合連合会 江南厚生病院					
所 在 地	愛知県江南市高屋町大松原137番地					
診 療 科 名	内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液・腫瘍内科、腎臓内科、内分泌・糖尿病内科、緩和ケア内科、精神科、小児科、外科、消化器外科、乳腺・内分泌外科、呼吸器外科、心臓血管外科、整形外科、リウマチ科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、放射線治療科、放射線診断科、病理診断科、臨床検査科、救急科、歯科口腔外科、麻酔科、形成外科、小児外科、集中治療科、感染症内科					
病 床 数	精 神	感 染 症	結 核	療 養	一 般	合 計
	-	-	-	-	630	630

2 施設の構造設備

施 設 名	設 備 概 要	
集 中 治 療 室	（主な設備）人工呼吸器/PCPS/超音波エコー/生体情報モニター/病床数/透析装置/除細動器/体外式ペースメーカー/急速輸血輸液加温装置 病床数 6床	
化 学 検 査 室	（主な設備）自動搬送生化学測定装置/自動血球算定装置/フローサイトメーター	
細 菌 検 査 室	（主な設備）質量分析装置/自動血液培養装置/自動感受性測定装置	
病 理 検 査 室	（主な設備）がん遺伝子検査装置/自動包埋装置/自動免疫染色装置/凍結切片作成装置	
病 理 解 剖 室	（主な設備）解剖台/臓器撮影装置	
研 究 室	（主な設備）椅子/机	
講 義 室	室数 1	収容定員 200人
図 書 室	室数 1	蔵書数 2,600 冊程度
救急用又は患者搬送用自動車	（主な設備）患者搬送車（設備：ストレッチャー） 保有台数 1台	
医薬品情報管理室	〔専用室の場合〕 床面積 53.31 m ² 〔共用室の場合〕 室と共用	

備考1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。
2 規則第9条の2第1項各号に掲げる事項を記載した書類を添付すること。

紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

1 算定期間 2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日

2 紹介率 71.4%

紹介患者の数 (A)	初診患者の数 (B)	紹介率 ($A/B \times 100$)
16,743人	23,444人	71.4%

3 逆紹介率 88.5%

逆紹介患者の数 (C)	初診患者の数 (B)	逆紹介率 ($C/B \times 100$)
20,758人	23,444人	88.5%

- ※1 各人数については、前年度の延べ人数を記入すること。
- ※2 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。
- ※3 紹介率が80%以上であることを承認の要件とする場合で、紹介率が65%以上80%未満の病院にあっては、今後、2年間で紹介率を80%以上とするための具体的な年次計画を明らかにする書類を添付すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

共同利用の実績
(地域の医療従事者による診療、研究又は研修のための利用)

1 共同利用の実績

- ・前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数：2,741件
- ・これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数：2,741件
- ・共同利用に係る病床の病床利用率：24.5%

【資料 2－1】共同利用を行った医療機関の延べ機関数

【資料 2－2】共同利用に係る病床の病床利用率

※1 前年度の共同利用を行った医療機関の延べ機関数、これらの医療機関のうち申請者と直接関係のない医療機関の延べ機関数、共同利用に係る病床の病床利用率等を記入すること。

※2 病院の建物の全部若しくは一部、設備、器械又は器具のうち、共同利用の対象としたものを記入すること。

2 共同利用の範囲等

・共同利用に関する医療機器

コンピュータ断層撮影装置、磁気共鳴画像診断装置、陽電子放出断層撮影装置、SPECT装置、X線テレビ撮影装置、X線一般撮影装置、歯科用パントモX線装置、骨塩定量測定装置、乳房撮影装置、超音波撮影装置、内視鏡、超音波診断装置、自動解析心電計、ホルター心電図解析システム、運動負荷システム、熱画像検査装置、脳波計、神経検査装置、肺機能検査装置、血圧脈波検査装置、一酸化窒素検査装置、オージオメーター、尿素呼気測定装置、睡眠検査装置

・共同利用に関する設備

図書室、地域医療連携センター

【資料 2－3】共同利用の範囲

3 共同利用の体制

共同利用に関する規程	有 ・ 無	
利用医師等登録制度の担当者	氏 名	
	職 種	看護師

※3 共同利用に関する規程がある場合には、当該規程の写しを添付すること。

【資料 2－4】共同利用規程【資料 2－5】共同利用病床運営細則

【資料 2－6】医療機器・図書室共同利用細則【資料 2－7】地域連携に伴う諸記録閲覧細則

【資料 2－8】登録施設制度実施規程

4 登録医療機関の名簿

医 療 機 関 名	開設者名	住 所	主たる診療科	申請者との経営上の関係
※資料 2－9 参照				

※4 申請に係る病院と同一の2次医療圏に所在する医療機関についてのみ記入すること。

5 常時共同利用可能な病床数 5 床

3階南病棟338号室-4、4階東、病棟481号室-1、5階東病棟569、6階西病棟616号室-4、
7階西病棟728号室-4

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

救急医療提供の実績

1 重症救急患者の受入れに対応できる医療従事者の確保状況

No.	職 種	氏 名	勤 務 の 態 様	勤 務 時 間	備 考
※資料 3-1 を参照			常勤 非常勤	専従 非専従	

2 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	名称 (ICU) 6 床
専用病床	名称 (HCU) 24 床

※ 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記入すること。

3 重症救急患者に必要な検査又は治療を行うために必要な診療施設の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要	24時間使用の可否
救急外来 1F	451.11㎡	(主な設備) 人工呼吸器/超音波エコー/生体情報モニター/除細動器/急速輸血輸液加温装置/麻酔器	可
診療放射線室 1F	1975.91㎡	(主な設備) CT/MRI/一般撮影装置/放射線治療装置	可
内視鏡センター 1F	292.29㎡	(主な設備) 内視鏡光源装置/内視鏡(上部9本、大腸4本、気管支5本)/内視鏡自動洗浄機	可
臨床検査室 2F	597.55㎡	(主な設備) 血液ガス分析装置/自動血球算定装置/全自動輸血検査装置	可
救命救急病棟 3F	342.83㎡	(主な設備) 人工呼吸器/超音波エコー/除細動器/生体情報モニター	可
I C U 3F	172.81㎡	(主な設備) 人工呼吸器/PCPS/超音波エコー/透析装置/除細動器/生体情報モニター	可
血管撮影室 3F	170.94㎡	(主な設備) 血管撮影装置/人工呼吸器/ IABP/超音波エコー/除細動器/生体情報モニター/体外式ペースメーカー	可
手術室 3F	1198.07㎡	(主な設備) 外科用X線装置/超音波エコー/麻酔器/腹腔鏡/手術ナビゲーション/手術支援ロボット	可

4 救急医療の提供の実績

救急用又は患者搬送用の自動車により搬入した救急患者の延べ数	8,465人 (3,716人)
上記以外の救急患者の延べ数	16,397人 (2,412人)
合計	24,862人 (6,128人)

※（ ）内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

5 保有する救急用又は患者搬送用の自動車の出動回数

50 回

6 備考

救命救急センター指定（平成27年10月）

※特定の診療科において、重症救急患者の受入れ体制を確保する場合は、その旨を記入すること。

既に、「救急病院等を定める省令」（昭和39年厚生省令第8号）に基づき知事の救急病院の認定を受けている病院及び「救急医療対策の整備事業について」（昭和52年7月6日付け医発第692号厚生省医務局長通知）に基づき救急医療を実施している病院にあつては、その旨を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

1 研修の内容

【資料 4－1】研修会の内容・実績

2 研修の実績

(1) 地域の医療従事者への実施回数	40 回
(2) (1) の合計研修者数	895 人

※ 研修には、当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるものを記入すること。

(2) には、前年度の研修生の実数を記入すること。

3 研修の体制

(1) 研修プログラムの有無 ☒ 有・無(2) 研修委員会の有無 ☒ 有・無

(3) 研修指導者

氏 名	職 種	診 療 科	役 職 等	臨 床 経 験 年 数	備 考
				年	
※資料 4-4 を参照				年	
				年	

※ 研修責任者については、備考欄にその旨を記入すること。

【資料 4－2】地域研修プログラム・研修計画

【資料 4－3】地域医療福祉連携委員会規程

※当院では地域医療福祉連携委員会にて、教育研修について検討しています。

4 研修実施のための施設及び設備の概要

施 設 名	床 面 積	設 備 概 要
講堂	287.73m ²	(主な設備) マイク放送設備、映像設備 (プロジェクター/PC/DVD/TV) 椅子、机、ホワイトボード
会議室 1	71.75m ²	(主な設備) 映像設備 (プロジェクター/PC/TV)、椅子、机、ホワイトボード
会議室 2	40.51m ²	(主な設備) 映像設備 (プロジェクター/PC/TV) 椅子、机、ホワイトボード
多目的室	70.51m ²	(主な設備) 映像設備 (プロジェクター/PC/TV) 椅子、机、ホワイトボード

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

1 管理責任者等

	氏 名	職 種	役 職 等
管 理 責 任 者 の 氏名、職種、役職等		医師	病院長
管 理 担 当 者 の 氏名、職種、役職等	病院管理： 診療情報： 地域連携：	事務員 事務員 社会福祉士	総務課長 医事課長 患者支援室長

2 諸記録の保管場所及び分類方法

	保 管 場 所	分 類 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、 手術記録、看護記録、検査所見記録、 エックス線写真、紹介状、退院した患 者に係る入院期間中の診療経過の要約	病院管理 …総務課 診療情報 …電子カルテ	→日付 →患者 I D
病院の管理及び運 営に関する諸記録	共同利用の実績	地域医療連携 センター
	救急医療の提供の実績	医事課
	地域の医療従事者の資質の向上を図る ための研修の実績	患者相談支援 センター
	閲覧の実績	地域医療連携 センター
	紹介患者に対する医療提供及び他の病 院又は診療所に対する患者紹介の実績 の数を明らかにする帳簿	地域医療連携 センター

※ 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格 A 4 とする。

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法
及び閲覧の実績

閲覧責任者	氏名	職種	役職等		
		医師	地域連携部長		
閲覧担当者	氏名	職種	役職等		
		看護師	地域連携係長		
閲覧場所	地域医療連携センター ※「こうせいネット」閲覧件数				
総閲覧件数	医師	歯科医師	地方公共団体	その他	合計
	10,360	2	0	100	10,462
閲覧手続の概要	<p>（手続きの概要）</p> <p>こうせいネットの利用を希望する者は、あらかじめこうせいネット利用申請書・「こうせいネット利用環境調査票」を地域医療連携センターに提出し、管理責任者の承認を得た後、閲覧することができる。</p> <p>【資料6】 こうせいネット運用マニュアル</p>				

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

医療法施行規則第 9 条の 1 9 第 1 項に規定する委員会の開催の実績

1 委員会の開催回数 4 回

2 委員会における議事の概要

令和6年度 第 1 回地域医療支援病院協議会 令和6年 5月8日 14：30～15：30 1. 実績報告 2. 共同利用医療機関実績 3. 地域関係機関との会議 報告等 2024年度 在宅医療の勉強会のご案内 4. その他 2023年度 在宅医療の勉強会配信 5. 質疑応答・意見交換	令和6年度 第 2 回地域医療支援病院協議会 令和6年 8月21日 14：30～15：30 1. 実績報告 2. 共同利用医療機関実績 3. 患者相談支援センター報告 4. その他 病病連携会議 地域連携交流会の報告 5. 質疑応答・意見交換
令和6年度 第 3 回地域医療支援病院協議会 令和6年11月13日 14：30～15：30 【協議・報告事項】 1. 実績報告 2. 共同利用医療機関実績 3. 2024年7月～9月 地域向け行事報告 4. その他 電子カルテシステムの更新 5. 質疑応答・意見交換	令和6年度 第 4 回地域医療支援病院協議会 令和7年 2月12日 14：30～15：30 【協議・報告事項】 1. 実績報告 2. 共同利用医療機関実績 3. 2024年10月～12月 地域向け行事報告 4. 「在宅医療の災害時における医療提供体制強化支援事業」「愛知県江南市における取り組み」 ―災害拠点病院併設の看護専門学校福祉避難所活用― 5. 質疑応答・意見交換

※委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

患者相談の実績

患者相談を行った場所	患者支援室		
患 者 相 談 担 当 者	氏 名	職 種	役 職 等
		社会福祉士	患者支援室長
		社会福祉士	患者相談支援課長
		看護師	入退院支援課長
		社会福祉士	医療福祉相談係長
		社会福祉士	在宅医療支援係長
		看護師	がん相談支援係長
患 者 相 談 件 数	23,818 件		

患者相談の概要

番号	内 容	件数
1	受診・入院に関する相談	759
2	退院・転院に関する相談	17,654
3	在宅・療養上の相談	3,065
4	医療費を含む経済的相談	1,944
5	心理、情緒的相談	66
6	権利擁護に関する相談	170
7	医療安全に関する相談	37
8	その他の相談	123

当院の患者相談窓口は外来の2階に患者相談支援センターとして患者や院内外からわかりやすい場所に設置している。専門職による相談体制を整備しており、

①医療福祉相談 ②がん相談 ③在宅医療支援 ④退院支援
⑤苦情対応 ⑥医療安全 などの対応をしている。

また、同場所に地域医療連携センター、江南市の地域包括支援センター、訪問看護ステーションを併設しており、合わせて同じ窓口での相談体制がある。

【資料 8－1】患者相談支援センター運営規程

【資料 8－2】患者相談支援センター組織図

【資料 8－3】患者相談支援センター対応事例

※ 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

居宅等における医療の提供の推進に関する支援の状況

居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の実績

【資料 9－1】居宅等医療提供施設等における連携の緊密化のための支援等の概要

医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の実績

【資料 9－2】医療を受ける者又は地域の医療提供施設に対する情報の提供の概要

その他居宅等における医療の提供の推進に関し必要な支援の実績

1. 地域の医師、看護師、介護・福祉関係者に対して地域の医療提供体制が成熟・拡大するための取り組みを当院主催または医師会と共催にて行っている。
 - 1) 症例検討会 毎月開催（各診療科担当）
当院の医師および登録医を対象とした勉強会
 - 2) 在宅医療の勉強会 年 4 回
在宅支援機関の多職種等を対象とした勉強会
 - 3) 地域関係機関との地域連携会議の開催 年 3 回 * 令和 6 年度は①④⑤を実施
 - ①病院福祉施設関係者
 - ②在宅支援関係機関
 - ③訪問看護ステーション
 - ④有料老人ホーム
 - ⑤救急医療との連携施設
2. 積極的に地域の医療機関訪問を行い、地域の医療機関より提供される医療資源や診療体制の確認、地域医療・地域医療連携の強化のための活動を行っている。

その他地域医療支援病院に求められる取組みの状況

1 連携体制を確保するための専用の室、担当者

専 用 の 室 の 名 称	地域連携部 患者支援室		
担 当 者	氏 名	職 種	役 職 等
	①	看護師	地域医療連携係長
	②	社会福祉士	患者相談支援課長

2 病院の機能に関する第三者による評価

評 価 を 行 っ た 機 関 名	日本医療機能評価機構
評 価 を 受 け た 時 期	2019年9月4日～2024年9月3日
	2024年9月4日～2029年9月3日

※ 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

3 退院調整部門の取組

<p>退院調整部門の実績 【資料10-2】退院調整部門</p> <p>患者相談支援センターにソーシャルワーカー（社会福祉士有資格者）12名、看護師等13名を配置している。入院日より退院支援を開始するスクリーニングシステムを稼働し、全入院患者に退院支援アセスメントと患者・家族面談を実施している。また、多職種による退院支援カンファレンスを積極的に行っている。</p> <p>当院の特徴として訪問看護ステーション、地域包括支援センター、がん相談支援センターを患者相談支援センターと同フロアに配置し、院内に限らず様々な患者ニーズ、相談にも応需できる体制を構築している。また、外来での在宅医療支援にも力を入れており、地域連携医や訪問看護ステーションとの連携を促進している。</p> <ul style="list-style-type: none">・令和6年4月～令和7年3月<ul style="list-style-type: none">・退院時共同指導料 121件・介護支援連携指導料 130件・入退院支援加算 11,817件
--

4 地域連携を促進するための取組みの実績

<p>策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容</p> <p>1. 愛知県がん地域連携パス：胃がん・大腸がん・乳がん 登録連携医療機関 91件 令和6年度 算定実績：胃がん 11件 大腸がん 60件 乳がん 81件</p> <p>2. 脳卒中・大腿骨近位部骨折パス 管理病院1件（当院） 回復期リハビリ病院 12件 令和6年度 算定実績：脳卒中 165件 大腿骨近位部骨折 196件</p>

地域連携クリティカルパスを普及させるための取組み

- ・ 大腿骨頸部骨折・脳血管疾患の地域連携パス

地域の医療機関が参加する地域連携パス会議を疾患ごとに年3回開催し、各医療機関の役割を明確にし、地域連携が円滑に行われるようにする。また地域連携パスの作成、検証、改定等を行う。地域連携パスの質の向上に向け、研修会・講演会を開催する。

患者への啓発として近隣回復期リハビリ病院の施設動画を電子媒体に入れ、面談時に活用できるように準備中

- ・ がん地域連携パス

かかりつけ医を訪問し、がん地域連携パスの説明を実施。特に令和4年度に「乳がん地域連携パス研修会」を開催し地域連携医に対して説明を実施。その後、逆紹介件数が大幅に増加した。

- ・ 患者への説明

こうせいネット登録医への情報公開

5 病院が果たしている役割に関する情報発信の実績

情報発信の方法

病院ホームページ、病院案内、広報誌「なごみ」、「診療機能と地域医療連携のご案内」

「地域連携だより」、デジタルサイネージ、メディネット

内容等の概要

- ・ 地域完結型の医療体制を構築、地域全体の医療の質向上にリーダーシップを果たすこと。
- ・ 地域医療の中核を担い、高度急性期医療に対応すること。
- ・ 次世代の地域医療を担う人材を育成すること。

備考 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。